

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について
（第2報（最終報））

東大寺福祉療育病院の1つの病棟において、新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案が発生し、濃厚接触者に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、当該院内感染（クラスター）事案は終結しました。

1 発生場所

東大寺福祉療育病院（所在地 奈良市雑司町 406-1）

2 感染者の概要

(1) 経緯

7月8日、病院内の1つの病棟の入院患者1人が発熱を発症し、検査したところ感染が判明した。当該感染者に係る職員及び同病棟の入院患者を対象に検査した結果、入院患者1人の感染を認めた。その後、有症状者の発生に伴い随時検査を行った結果、入院患者7人（初発感染者1人を含む）及び職員9人の計16人の感染を認めた。

(2) 感染者（計16人）

ア 入院患者7人（市内7人）

【内訳】

性別：男性1人、女性6人

年代：20代3人、30代3人、40代1人

イ 職員9人（市内3人、市外6人）

【内訳】

性別：男性3人、女性6人

職種：看護職員7人、看護補助職員1人、医療技術者1人

年代：20代1人、30代1人、40代4人、50代1人、60代1人

70代1人

(3) 市感染者番号

ア 入院患者7人

①27177、②27280、③27445、④27776、⑤27843、⑥28211、⑦28408

（報道発表日：7月10日～7月16日）

イ 職員9人

①28022、②市外、③28212、④～⑦市外、⑧29359、⑨市外

（報道発表日：7月14日～7月19日）

3 病院の対応

- ・ 7月8日～
 - ・ 当該病棟の消毒を実施。
 - ・ 当該病棟の入院患者及び職員に検査を実施。
 - ・ 感染予防策の強化、徹底。
 - ・ 当該病棟の入院患者の受入れを中止。
- ・ 7月13日～
 - ・ 外来の受入れを中止。
- ・ 7月26日～
 - ・ 当該病棟及び外来の通常の病院機能を再開。

4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議した。

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。